

2020年12月19日（土） 忘年登山 新倉山浅間神社＆新倉山（1180m）

新型コロナ騒動は、結局収まることなく令和2年が暮れようとしています。クマさん会では、コロナ感染防止のための対処方法が多少分かってから登山が再開されましたが、それでも今年は登山回数が随分減りました。

活動に制約の多かった一年でしたが、忘年登山は決行しようということで、富士山の望める新倉山を選びました。この山のお勧めは桜満開の頃らしいのですが、空気の澄み渡った冬も捨てがたい魅力があるとのことでした。

参加は熊本さん、能勢さん、堀さん、池戸さん、田上さん、根岸さん、高橋雄さん、中島さん、そして吉松の9人です。能勢さん、田上さん、雄さん、吉松の4人はバス便で、他の方々は電車を利用して、集合場所である富士急行下吉田駅に向いました。

能勢さん、田上さん、根岸さんは久しぶりの参加でした。

レポートは吉松です。



田上さんと吉松は、バスタ新宿7時15分発 山中湖行きを予約していた。コロナ禍でガラガラかと思いきや満席で、臨時便として2台が追加で準備されていた。何故か女性が多かったような気がする。

能勢さんと雄さんは日野バス停から乗車してきた。



バスは快適に走り、予定よりも早く中央道下吉田バス停に到着

誰も居ない田圃の中に降ろされたが、富士山が見事で、富士をバックに写真に収った。

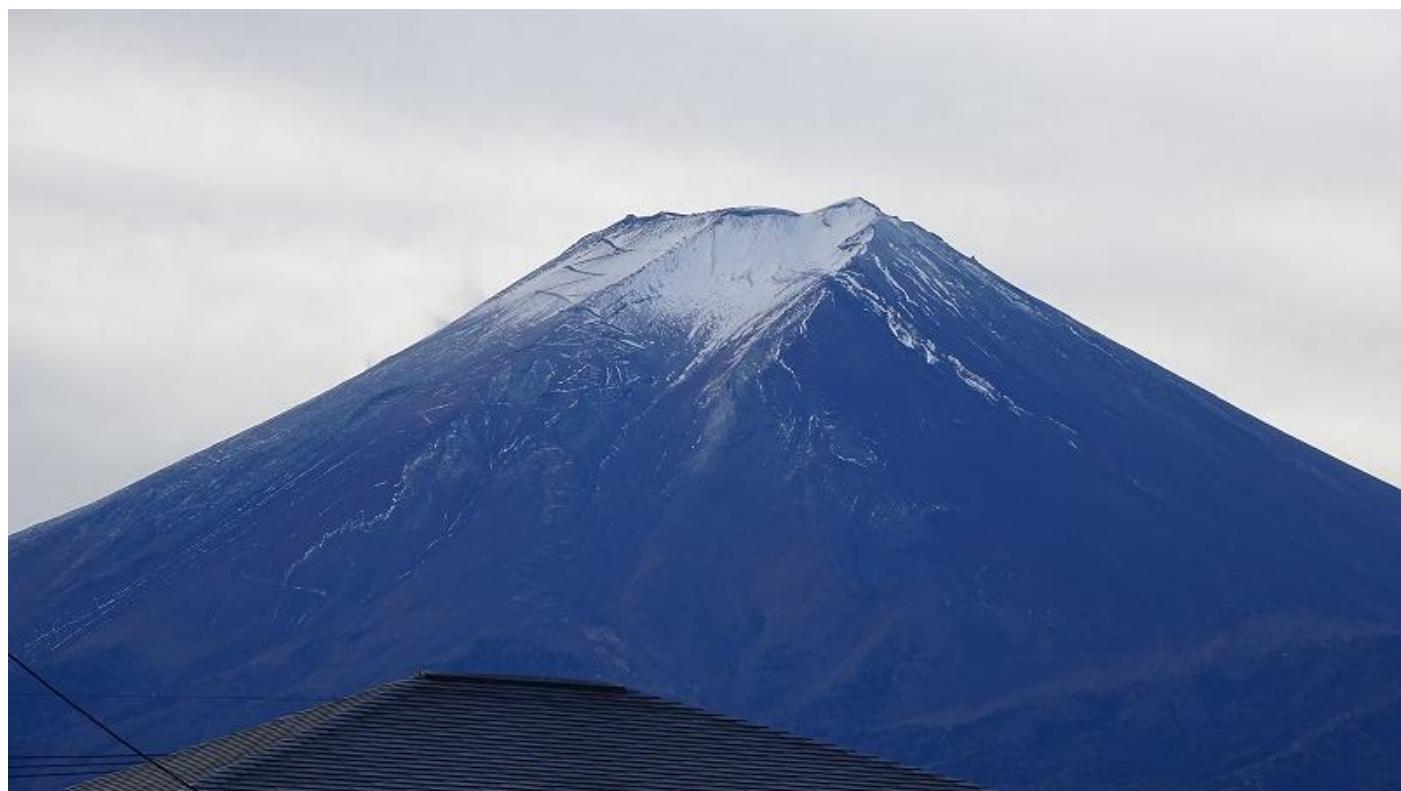


富士急行 下吉田駅は、ここから歩いて10分ほどだ。

一方、朝の早い熊本さんは、4人がバス停で降りるよりも早い時刻に下吉田駅に着いていた。

駅近くの「富士山下宮小室浅間神社」などを散策していたらしい。この神社の御祭神は木花咲耶姫命（このはなさくやひめのみこと）とのこと。

早朝の、空気が澄み雲のかからない雄大な富士山の写真がすばらしい。



9時過ぎに電車組が到着

バスとは違い、電車はガラガラだったようだ。

全員揃ったところで集合写真

ほとんど犯罪者の一団のようだ。写真の時くらい全員マスクは取るべきだったか？



下吉田駅の駅舎は珍しい。入口に、そば屋のような「のれん」の駅名がぶら下がっている。

駅に駅員もいなければ、駅前には店さえ無く閑散としている。桜の季節はもっと違うのかも知れないが・・・



駅の敷地は無人駅にしてはかなり広かつた。

カラフルな客車が停車しているかと思えば、寝台特急「富士」（スハネス寝台客車）も展示してあった。特急寝台車は、土日は車内見学も出来るのだそうだ。

*レポーターの独り言①

飛行機がまだ庶民一般的のもので無かった頃は、東京からレポーターの田舎（鹿児島）へは寝台特急「富士」や「はやぶさ」で帰省していました。随分懐かしいものに出会い、遙かなる昔を思い出しました。





これから向う新倉山浅間公園は新倉山の中腹にある。

見上げれば電車通りからも忠靈塔（五重塔）を望むことが出来た。



駅から歩いて10分ほどで、新倉富士浅間神社に着いた。



三々五々、神社でお参り



慰靈塔までは398段（約200m）の「咲くや姫階段」を登ることにした。

階段入口に、「熊出没注意」の掲示があった。その側を、クマが悠然と歩いていった！！

この階段は結構きつい。

息が弾み会話も少なく、黙々と登り続けた。



9時35分、慰靈塔（五重塔）に着いた。
戦没者のための慰靈塔である。

650本の桜（ソメイヨシノ）が植わっていて、春の見事さは格別だそうだ。

慰靈塔の周りや展望デッキで、のんびりとしたひとときを過ごした。



浅間公園での一時を楽しんだ後、新倉山に向った。



少し登った東屋の辺りに来たら、もう観光の集団はいなくなつた。



僅かに標高が高くなつただけで、富士は一層雄大な姿を見させてくれた。

登山道は緩やかな登りで、6月頃の季節にはアヤメの群落にも会えるとか。



10時半頃、ゴンゴン石に出くわした。石の空洞に頭を突っ込むと「ゴーゴー」と音がするらしいが、誰も試みなかつた。



鳥居の足下には陶器の狛犬が2体
田上さんは、キャベツが置いてあると言つ
ていたが、どう見ても狛犬だと思う。



10時50分 新倉山山頂（1180m）到着。あまり山頂らしくなかったが、記念写真一枚



山頂は狭く視界も悪いので、5分ほど離れた御殿で昼食を摂ることにした。
こちらの方が見張らしもずっと良い。

到着の合図に、御殿にぶら下がっていた釣り鐘を思いっきりたたいたら、隣にいた中島さんがビックリして飛び上がった。



程よい丸太作りのテーブルが有り、少々早い昼食となった。

能勢さん：ワインを有り難うございます。
中島さん：お宅で取れた、甘くて美味しい
ミカンを頂き、有り難うござい
ました。

11時20分過ぎには下山開始。もと来た登山道をアツと言う間に慰靈塔まで下った。





慰靈塔からの下りは階段を使わずに、車道を利用



12時10分、瞬く間に浅間公園入口まで降りてきた。

そのまま下吉田駅まで移動



途中、小川にアオサギがいた。

魚を待ち伏せていて身じろぎもしないものだから、置物では無いかと見つめていたら、向こうも我々をいぶかしげに見つめながら、悠然と動き出した。

なお、堀さんが「オレオレサギ」と呼ばわったとの密告情報がある。



駅には早々に着いてしまった。
乗車する列車は12時55分発だ。

40分ほど駅の広場でブラブラと過ごした。

堀さんは、中島さんが披露している御朱印に感心しているようだ。

*レポーターの独り言②



中島さんのお酒好きは承知していたが、うかつにも「御朱印」に興味があるとは知らなかつた。

新倉富士浅間神社の御朱印も買い求めていた。結構いい値がするようだ。



12時55分発の列車に30分ほど乗り、都留市駅で下車



向ったのは駅から1分の好立地、本日の休憩施設「より道の湯」



入口もしやれていたが、中も温泉とは思えないような造りであった。

実はこの施設、一月ほど前にスタッフ一人からコロナ陽性者が見つかり、2日間掛けて全館消毒を行つてから再開していた。入口辺りから感染防止策が徹底していて、入館には手間取つたが、反つて安心感があつたほどだ。時間も早かったので他の客は少なく、ゆっくりと汗を流すことが出来た。



館内のレストランで、湯上がりの生ビール
おつまみには、「たこわさ」と「枝豆」
＊枝豆は量多く、食べきれず持帰り



予定より1本早い、都留市駅15時01分発の富士急行に乗車

誰言うとも無く、八王子「凜や」で今年の締めをしようという話になってきた。

「夕食には早い時刻だから、他の客はまだいないはずである。」

「従って、コロナ感染予防には良い。」

「この時刻なら、いつも我々が利用する大きな一枚板のテーブルは空いているに違いない。」

などと、都合の良い話ばかりが出てきて、結局流れがその様になってしまった。



田上さんと根岸さんは所用があってそのまま帰宅、その他の7名は流れのままに、八王子「そば処 凜や」へ



このところ「そば処 凛や」の利用頻度が上がり、ビールの乾杯から始まっておつまみの注文までの手際の良いことと言ったら無い。

メニューに無かった「牡蠣フライ」まで調理して出させるのだから、大したものだ。

頼んだ日本酒の旨さ比べ談義にも花が咲いたが、長くなるので割愛！！



* レポーターの独り言③



「より道の湯」館内レストランで出たおつまみ「えだまめ（@450円）」は大変美味しかった。

しかも相当な量があってその場では食べきれず、手分けして持ち帰ることにした。

持ち帰った中島さんは「コールスロー」に添えてたべたそうだ。どのみち、お酒のつまみにしたに違いない。

恒例の忘年会が開催できず、クマさん会としてはやや寂しい年の瀬でした。しかし、忘年登山は決行できて、下山後のいつもの打ち上げも楽しく行うことが出来ました。一年の締めとしては良かったと思います。

クマさん会にとって令和3年が素晴らしい年になりますように！